

令和7年度 1.2 学年 総合的な探究の時間 特別講義「武器よりも命の水を」

3月4日(水) 3.4 時間目

本時の総合的な探究の時間では、現在岡山県で農園「ほのぼのハウス」を運営されている山口敦史様（元ペルシャワールド会現地駐在員）を講師としてお招きし、講演を行っていただきました。講演の中では、深刻な食料や水問題を抱えるアフガニスタンの子どもたちのために、故 中村哲医師が尽力された用水路作りに参加され、そのご経験をもとに、当時の過酷な現状を伝えてくださいました。家族と共に過ごせること、毎日食事を摂れること、安全な水が飲めること、そんな私たちにとって当たり前のことが世界では当たり前でないということを、胸が痛くなるほど感じ取りました。しかし、そのような過酷な状況でも、故 中村医師とともに諦めずに前向きに地域づくりに取り組んだ経験が、現在のご自身のエネルギーになっていることを伝えてくださいました。

「成功するまで続けること」「自分にできることをコツコツすること」という考え方は、現在取り組んでいる探究活動だけでなく、今後の生徒たちの生き方・働き方の視点においても、背中を押してくれるメッセージになってくれることを期待します。



【生徒の感想】

- ・自分にほとんど利益がなくても、誰かのために行動できる心を持っている故 中村医師や山口さんのような人が本当に強い人なんだと感じました。
- ・アフガニスタンの状況や人々の生活への影響、きれいな水の大切さ、日本の「当たり前は他の国では当たり前ではない」ことなどたくさん大切なことを学びました。
- ・故 中村哲さんの思いを受け継いでいくという考えがとても素敵で大切だと思いました。「挑戦とは特別な人間がすることではない」という言葉が心に残りました。
- ・高校を卒業してからも、将来の夢に向けて、少しずつでも努力を続けて、必ず夢をかなえ、人の役に立てるような人間になりたいと思いました。